

CLUB NEWS

WEEKLY
REPORT
YAMAGATA
CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック

山形中央ロータリークラブ

30周年記念事業を終えて気持ちを新たに!

vol.
1333

2023・2024
MEETING

〒990-0039 山形市香澄町2-9-21 (株)メコム気付 事務所携帯TEL 090-1445-4120 FAX (023)642-1618

例会 毎週火曜日 12:30~13:30 (但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- 会長 長 玉ノ井 憲史
- 会長エレクト 長谷川 淳
- 副会長 本間 雅之
- 直前会長 石山 徳昭
- クラブ管理運営 佐藤 太
- 職業奉仕 相川 博昭
- 社会奉仕 丹野 秀樹
- 青少年奉仕 伊藤 和子
- 国際奉仕 深瀬 隆志
- 幹事 高橋 恭治
- 副幹事 小林 敏郎
- 会計 神保 綾
- S A A 鈴木 陽子

国際ロータリー会長 コンドルマツカバ(スコットランド)
第2800地区ガバナー 伊藤 三之(山形北)
第5ブロックガバナー補佐 吉田 義尚(山形東)



世界に希望を生み出そう

◆日時 / 2023.9.12 12:30 ◆例会場 / ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング / 我等の生業

会長挨拶



皆さん、こんにちは。本日は今月17日に開催される日本一の芋煮会の実行委員長の大場浩平さんと副会長の鈴木まさよしさんのお二方がきております。後程ご挨拶とみなさんにご協力をお願いいたします。

そして本日は新会員の小松さんの卓話を予定しておりますのでよろしくお願い致します。

さて、先ほどご紹介いたしました、日本一の芋煮会ですが、昨年まで当クラブとして「ふれあい芋煮」として協賛しておりましたが今年は寄付金という形で協賛する形になりました。この後伝達式をさせていただきます。私も青年部OBとして日本一の芋煮会については考え深いものがありまして、丁度第一回日本一の芋煮会が始まった昭和62年1987年の36年前35歳で青年部に入会し平成7年に卒業するまで毎年芋煮会に携

わっていたのを思い出します。

当時のいろいろな苦労したことなど今でも鮮明に記憶に残っており、その貴重な体験の話をするとう時間がいくらあっても足りませんが、一つだけ今では絶対不可能なことを体験したことがありました。それは大鍋を自衛隊のヘリコプターで会場に運んだことです。これは衝撃的というか感動したことを今でも鮮明に覚えています。本当に当時のあの体験は自分の人生の中で一つの大切な思い出だったと思っております。

まだまだいろいろな日本一の芋煮会の思い出がありますが、ここに青年部OBの方々がおられますが本当に毎年芋煮会の季節が来るたびに当時のことを思いだしていることと思います。

今年も第36回日本一の芋煮会が無事開催され大成功に終わることを祈願いたしまして私の挨拶といたします。

本日も宜しくよろしくお願い致します。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	36名	—	22名	—
修正出席				
他クラブでメークアップされた会員				



新入会員卓話

私の事

小松建設株式会社 小松茂洋 会員

みなさんこんにちは。8月より会員となりました小松建設の小松茂洋です。改めましてこの度は山形中央ロータリークラブへ入会させていただきありがとうございました。令和2年4月に社長になったのですが、弊社の会長には業界内のメンバーとばかり会っていると世界が広がらない、外に出ている人々に会え、そのためにロータリーでもいいしライオンズでもいいし倫理法人会でもいい、何かに入りなさいと言われて続けてきました。社長になった時がちょうどコロナ過が始まったところだったので、いろいろ避けながら、誰かから声がかかったらと知らないふりをしていたのですが、鈴木陽子さんに声をかけられてしまいました。結果として当社の会長は大賛成、早く入れ、と言われて入会申し込みさせていただきました。まずは欠席せず継続して参加していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

さて、簡単な自己紹介ですが、私は昭和52年8月生まれで現在46歳になりました。出身地も現在の住まいも中山町で、両親と私の3人で暮らしています。30歳の頃にいろいろありまして現在は別に暮らしている、大学生と高校生の子供がおります。大学生の長男は千葉県で、高校生の次男は山形市で生活しています。長男が高校時代、陸上長距離をやっている県内では結構早い方で練習もがんばっていて、土日の練習の送迎依頼があったので、せっせと坊平や長井なんかに送迎していたのですが、大学生になったら、まず3、4日はLINE見てくれないです。自分も同じくらいの頃、父親に対し、こんな感じだったのかなと考えていますが…。長男は中学3年の頃から箱根駅伝に出たいと言って陸上を始めて高校で結果を出して県高校駅伝や全国高校駅伝を走ったり県の縦断駅伝を走ったりしていましたが、高校3年の恥骨疲労骨折から怪我を引きずって治らず、大学陸上部にも所属しましたが、

走れず退部してしまい、現在はただの大学生となっています。先日、初めて一緒に飲みまして大人になったなあと思っております。そして送迎が無くなってしまった現在の暇な土日はゴルフをやっています。基本的には土日しかやらないので、そんなに回数多くはないのですが、今年中に80台出したいなと思っております。

『会社のこと』

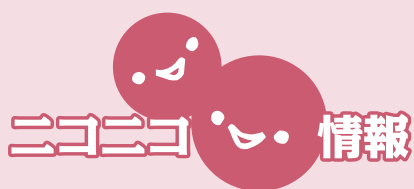
会社の方は公共工事の受注を中心として土木工事、道路や河川工事、舗装工事を行っています。冬の間は県、山形市、中山町の除雪も行っています。今現在は、県の工事が市内門伝で道路改良工事、寒河江市で河川工事、山形市の工事が、あかねヶ丘で雨水管整備工事と松見町で舗装工事を行っています。会社自体は大正8年4月に中山町で私の曾祖父が小松組として創業しました。昭和31年に祖父が小松建設株式会社として会社を設立しました。以降、県と中山町発注の工事受注を中心に工事を行ってきませんが、中山町の工事量では社会的にも難しいことがあり、また山形、上山、天童、山辺、中山の3市2町の合併も破談になってしまったこともあり、平成16年に本社を山形市六日町に移転しました。その会社に私は平成25年に入りました。祖父が会社を経営していましたが、父は県職員を選び跡を継ぐことはなく、会社の方は叔父・会長が跡を継ぐような形でした。なので自分自身の将来の選択肢として小松建設を考えたことは正直ありませんでした。高校大学を出て就職した先は当時の山形しあわせ銀行、現在のきらやか銀行です。最初の勤務先は新潟支店でした。今と違い勤務時間も遅くまでだったし、残業代は出ないし、新卒時だったので、手元にあるお金は少ないし、でしたが、仕事上がりに先輩と色々なお店を飲み歩きして、楽しい時代でした。その後山形市内、鶴岡、米沢と転勤しました。最後に勤務した米沢ではお客さんにも恵まれ仕事も楽しかった

のですが、実家に帰った時父から話があると聞かれました。それが小松建設に入る気あるかということでした。叔父・会長の子が跡を継がない、それで兄である父に相談にきたと。この2、3年前に別なところの話があったり、母が社長をしている小松建設とは別な会社の話があったりしたのですが、まず銀行員で良いじゃないか、別に家のことは考えなくて良いと結論が出た後だったので、ちょっとびっくりした感もありました。その日のうちに叔父・会長から話も聞いて決算書も見ると渡され、両親からもゆっくり考えてとありましたが、自分でも不思議なもので気持ち的には銀行を辞めて小松建設に入るつもりになっていたことです。今も不思議です。それで平成25年に13年勤めた銀行を辞めて小松建設に入りました。最初の1年間は現場で監督と作業員と一緒にいました。最初は河川工場の現場で、それまでの銀行員と違い「物が出来上がる」流れを最初から最後まで経験しました。今の銀行員と違い当時は定期預金と融資メインだったので、仕事をして形に残らないものでした。それで会社が違って、最初の4~5か月で大きなものが完成する姿を見ることができた。感動した想いでした。建設業

は仕事の2/3が地面に隠れてしまう仕事です。それでも地図に残る仕事。良いものだなと当時思いました。1年間の現場経験の後、総務、営業を経験して令和2年4月に代表取締役役に就任しました。私が入社して社員の顔ぶれはほぼ変わらず、時折3~40代の人が入って辞めていくのを繰り返していたのですが、H31年に高校新卒の子が入社してくれて、そして去年には20代の子が3人入社してくれました。来年には山形産業技術短大から1名入社する予定となっています。若い子が入ったことで会社の雰囲気も明るくなって、とても有難い状況です。仕事の受注状況も悪くないし、若い子も入ってきているし、今良い流れが出来上がりつつあるので、会社全体の年収も上げていきたいし、より良い方向にもっていければなと日々思っています。

最後になりますが、わからない中ですが、まずは欠席せず続けて参加していきたいと思っています。今後よろしくお願いいたします。

つたない話でしたがご清聴ありがとうございました。



玉ノ井会長・高橋幹事／小松さん、本日は卓話をありがとうございました。大場さん、鈴木さん芋煮会

フェスティバルの大成功をご祈念申し上げます。

田村浩一／小松さんお話しありがとうございました。

小林敏郎／小松さん、卓話ありがとうございます。

相川博昭／小松さん卓話ありがとうございました。大場実行委員長、鈴木副会長よろこそ山形中央RC例会へ！日本一の芋煮会がんばって下さい。



日本一の芋煮会に協賛金贈呈



日本一の芋煮会
大場実行委員長